

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2020. 6  
No.322

### TPS(トヨタ生産方式)活動から見えてきたもの

今年度の会社方針を作成するにあたり、昨年度からTPSの導入を考えていました。2020年今年に入り、イナテックの職制の中に「生産調査課(トヨタで言う生産調査室)」を新設し、鈴木亨課長を筆頭に本格的に活動を開始いたしました。

田代先輩や古澤先輩のご指導をいただきながら、まずは第1製造課から集荷のシステムを構築して、ほぼかたちが出来上がってきました。もちろん我々が目指すのは『先入先出』『1個流し』生産体制です。

そこで私も含めイナテックの役員にそれぞれの製造課のアドバイザーになつてもらいたい意思疎

通と決断のスピードを上げるようにプロジェクト化も実施しました。

その中で見えてきたことは、

- ・ 大ロット生産(段取時間が長い)
- ・ 多回納入してないために在庫が多い
- ・ 工務の人が材料発注等していて忙しい
- ・ 仕入れ先様からの納入ロット数が大きすぎる
- ・ 仕掛品が本社に仮置きされ利益にならない運送コストとなり物流コストUPになっている
- ・ かんばんのバラツキに対してお客様に交渉していない
- ・ 死蔵在庫(売れない補給品・シャットダウン品の在庫)等々

このような問題が見えてきました。もちろん我々が目指すのは『先入先出』『1個流し』の世界に向けて前進することです。

トヨタの豊田章男社長は「生産調査室」の出身で林南八氏(元トヨタ生産調査長)の指導を受けられ、バリバリのTPSマン社長でいらっしゃると思います。

その豊田章男社長が最近「もう一度」TPSを全社・全グループに徹底するという方針を打ち出してみえるようです。

我イナテックも今年度からこのTPSに全社で取り組んだことは、とてもタイムリーだったと思っています。後は「実行あるのみ」そして成果を出すことです。

### TPS『先入先出』『1個流し』の最大の問題は『段取時間』

イナテックの段取時間は、なんと月当たり450時間かかっています。もちろん、その時間の間はラインが停止しており、何も生産してない時間なのです。だから利益を生んでいないムダな時間なのです。

現在、各製造に生産調査課の鈴木(亨)課長と製造技術課の田中(克)次長より指導をいただいています。製造の班長やスタッフの方々が段取風景をビデオに撮り、問題点を共有しながら改善活動を進めています。

その段取改善活動で平準を定め治具の整理・整頓したことで20%段取時間を短縮することができました。

その段取りの問題点(内段取時間)とは、

- ・ 治具のボルトの種類が多い
  - ・ 治具取外し後の掃除のムダ
  - ・ 治具取付け時間のムダ
  - ・ 治具取付け後の調整時間のムダ
  - ・ 試運転のムダ・寸法調整のムダ等々
- などが見えてきました。

我々が今からやらねばならないのは『段取時間の短縮』つまり『シングル段取化』なのです。

### 『シングル段取化』とは

まずは内段取10分間で終了し、次の製品が良品として流れ始めることです。

次のステップとしては、1分間以内を目指すことです。やっつやれないことはありません。フォーミュラーレース、F1のピットイン

でのタイヤ交換をテレビで見られた事があると思います。あれが究極の『シングル段取り』なわけです。そして段取時間が『シングル』に近づいていくと設備の有効活用ができます。

イナテックとイナテック鳥取の総設備850台中40%は、1日16時間未滿稼働の設備なのです。ですから、この『シングル段取化』の仕組みが出来上がれば停止中の330台の機械でビジネスができるわけです。

幸いにも今お客様のところではEVやFCV・PHVの製品の数量が少なすぎて生産してくれる仕入れ先がないという状況になっています。

イナテックはシングル段取化の武器である

『シングル段取治具』を設計・制作し、EV・FCV・PHVを受注していけば設備投資ゼロ(シングル段取り治具は別)でお客様に喜んでいただけイナテックも将来ある部品を開拓し利益に貢献ができるわけです。

そしてそのイナテックが考案した『シングル段取治具』設計製作技術を機械メーカーさんに提供すれば最強の連合軍が出来るわけです。イナテックの第2の柱として量産の加工点技術がNEWビジネスとしてイナテックグループに貢献でき、どんな“変化”が襲来するかわからない世の中でも生き残り成長できる体制をつくり上げたいと思っております。

TPS活動を盛り上げていきましょう！

### 八四

貧家淨拂地、貧女淨梳頭、景色雖不艷麗、氣度自是風雅。士君子、一當窮愁寥落、奈何輒自廢弛哉。

あばら屋でもきれいに庭を掃除し、貧しい女もきれいに髪をとかしておれば、外見はあでやかに美しいとは言えないまでも、品格は自然に趣を得てくるものである。そこで一人前の男として、万一、困窮の憂いや失意の悲しみに落ちたときでも、どうしてそれですぐ、自分から投げやりになつてよからうか。